

平成 28 年度城山商工会 経営発達支援計画事業評価書

地域商工業者の“持続的な発展”を目指し、伴走型で商工業者を支援していくために、当会では小規模企業基本法に基づき、「経営発達支援計画」を策定し、平成 27 年 12 月 25 日に経済産業省の認定を受けました。

この計画の認定を受けたことにより、今後は城山商工会が認定商工会として、従来の小規模事業者の経営相談に加え、行政や他の公的支援機関・地域金融機関・各分野の専門家と連携して、小規模事業者の意欲ある取り組みを支援する「伴走型小規模事業者支援」に取り組んでまいります。なお、平成 28 年度上期の事業実施状況と成果の検証を以下のとおり報告いたします。

- 日時 平成 28 年 12 月 1 日（木）14 時～16 時
- 会場 城山商工会館
- 出席 委員 4 名（有識者 2 名、行政 2 名）、事務局 3 名
- 内容 城山商工会平成 28 年度上期「経営発達支援計画」事業評価について

I. 経営発達支援計画の内容

◆ 地域の経済動向調査に関すること

実 施	神奈川県商工会連合会、中小企業景況調査等を活用し、地域経済動向の収集・分析を行った。地域経済動向はメールマガジンで年 4 回発信し、地域事業者がいつでも活用できるように当商工会ホームページに新設する‘経済欄’に掲載した。	
評 価	メールマガジンを年 4 回発信し、地域事業者がいつでも活用できるようになっていることから「A」評価とする。	A B C D

◆ 経営状況の分析に関すること

実 施	ホームページや広報誌等で経改事業の内容を発信。支援希望者の掘り起しを行った、また、専門家、職員による経営状況の分析を希望事業所に対し実施した。	
評 価	情報発信による支援希望者の掘り起こし、希望事業所に対する職員等による経営状況の分析、他支援機関との定期的な情報交換の実施など、実施計画に沿った活動が十分になされているので A 評価とする。	A B C D

◆ 事業計画策定支援に関すること

実 施	経営分析結果と需要動向等を踏まえ、事業者の負担を配慮して、最重要項目の事業計画策定を優先した。創業者向けの経営計画策定支援を実施した。	
評 価	例年並みの計画に沿った活動が行われているが、今後さらなる件数アップを行っていくのでB評価とする。	A B C D

◆ 需要動向調査に関すること

実 施	業界誌、地域金融機関レポート、POSデータ等を活用し、需要動向の収集・分析を行うとともに、巡回訪問時に事業者への情報提供を補足説明と合わせて実施した。	
評 価	需要動向調査委に関して、達成度が80%以上であり、巡回訪問による事業者への情報提供についても目標数を超えていることからA評価とする。	A B C D

◆ 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること

実 施	地域金融機関及び支援機関と連携し、小規模事業者の受発注のマッチングを実施した。観光協会等とタイアップし、イベント・祭り会場にて地域の店舗PRが図れた。当地域内で行われるイベント祭りにて、パンフレットの設置や販売等による店舗・商品の紹介を実施した。	
評 価	地域外の需要開拓については実施件数が昨年並みであり、今後の期待を込めてB評価とする。	A B C D

II. 地域経済の活性化に資する取組

◆ 体験型観光

実 施	葉山島地区にて米作り体験を4回実施。それに伴い小規模事業者が参入（出店）できた。タウンニュース等の紙媒体やホームページ、専門家によるSNSを活用した集客活動を行った	
評 価	米作り体験の実施による小規模事業者の出店を成功させるなど、成果を上げているのでA評価とする。	A B C D

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

◆ 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

実 施	相模原市や日本政策金融公庫、近隣商工会等連絡会を開催し、支援事例の発表などの情報交換を実施した。	
評 価	各支援機関および近隣商工会との情報交換を密接に行っていることからA評価とする。	A B C D

◆ 経営指導員等の資質向上等に資する取組

実 施	事業者支援の実務に携わる主席経営指導員以下の職員が分担して、城山地域の小規模事業者の経営改善支援に必要な支援ノウハウを習得するために、[基礎]区分、[専門]区分のカリキュラムから年間3コースを受講し、また習得したノウハウ等は当商工会職員間で共有した。					
評 価	職員の支援能力向上に積極的に取り組んでおり、常に支援を受けるお客様が満足される支援体制を整えることに積極的である。よってA評価とする。	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	A	B	C	D
A	B					
C	D					

総 評	28年度前半の期間は、僅かながら実施できなかった取り組みもあったが、実施した取り組みについては目標を上回る実績をそれぞれが上げている。全体的に目標を上回る活動実績となっており、B評価とした項目についても例年並みの実績は上げている。計画の実施内容から積極的に計画実施に取り組む真摯な姿勢が見える。よって総合評価をA評価とする。	
A		

【評価区分】

評価	達成割合
A	80%以上～100%
B	60%以上～ 80%未満
C	30%以上～ 60%未満
D	0%以上～ 30%未満